

STAGE+を楽しむ(125)(HP 収載)  
—イエロー・ラウンジ in 香港—

1. 始めに

前報(124)に引き続き、STAGE+のイエロー・ラウンジ in 香港の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、イエロー・ラウンジ in 香港の演奏を選びました。

イエロー・ラウンジ in 香港～ラファウ・ブレハッチ&ボムソリ

ファースト・タイム・イン・ザ・クラブ

収録日: 2019年2月18日

2005年のショパン国際ピアノ・コンクールの完全覇者ラファウ・ブレハッチと、2016年のヴィエニャフスキ・コンクール以来、ポーランドの音楽家との強い繋がりを大切にしている韓国の新星ヴァイオリニスト、キム・ボムソリを迎えて、香港で初めてとなるイエロー・ラウンジが開催されました。当時（2019年）ふたりはドイツ・グラモフォンからフランスとポーランドの作品を集めたデュオ・アルバムをリリースしたばかり。そこから、ドビュッシーやフォーレ、シマノフスキーのヴァイオリン・ソナタと、ショパンの夜想曲第20番（ヴァイオリンとピアノのための編曲版）などが披露されます。

ソリスト:

ラファウ・ブレハッチ（ピアノ）、キム・ボムソリ（ヴァイオリン）

曲目:

クロード・ドビュッシー

ヴァイオリン・ソナタ短調 L. 140 より第1楽章 : Allegro vivo

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ヴァイオリン・ソナタ第24番へ長調 K. 376/374d より第1楽章 : Allegro

ガブリエル・フォーレ

ヴァイオリン・ソナタ第1番イ長調 op. 13 (抜粋)

カール・シマノフスキ

ヴァイオリン・ソナタニ短調 op. 9 より第1楽章 : Allegro moderato

フレデリック・ショパン

夜想曲第20番嬰ハ短調 遺作 (ヴァイオリンとピアノのための編曲)

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト

ヴァイオリン・ソナタ第 24 番へ長調 K. 376/374d より第 3 楽章：

Rondo. Allegretto grazioso

カロール・シマノフスキ

ヴァイオリン・ソナタニ短調 op. 9 より第 2 楽章：Andantino と第 3 楽章：

Allegro Molto, Quasi Presto



### 3. 試聴の経過

前回に引き続き、スピーカーアキュライザーの位置を変更し、スピーカーアキュライザーからのバイワイアリングケーブルにケーブルチューナーを装着し、ルーター→スイッチングハブ→PCの2本のLANケーブルにLANアキュライザーを使用しています。さらに、スイッチングハブに光城精工の仮想アース Crstal EpL を接続し、ルーターに自作の仮想アースを接続しています。

若手のピアニストのラファウ・ブレハッチと若手のキム・ボムソリのフレッシュコンビによるモーツァルト、ドビュッシー、フォーレ、シマノフスキー、ショパンと多彩なプログラムの演奏です。ショパンの夜想曲第 20 番嬰ハ短調はヴァイオリンとピアノのための編曲で珍しいものです。

各曲とも楽章だけを切り取った短い演奏ですが、若手二人のフレッシュで勢いのある演奏が次々と続きます。クラブハウスのような環境での近接録音のせいか、ブレハッチのピアノは輝かしく、ボムソリのヴァイオリンは研ぎ澄まされて直接音がクリアーです。



#### 4. まとめ

LAN アクキュライザーと Crstal EpL の効果により、クラブのようなところでの近接録音のせいか、ピアノは輝かしく、ヴァイオリンは研ぎ澄まされた音での勢いのある演奏でした。

以上